

決算特別委員会総務文教分科会会議記録  
(平成28年度決算審査)

1. 開催日	平成29年10月3日
2. 場所	401・402会議室
3. 出席議員	栗山泰三座長、隅田雅春副座長、 木戸貞一委員、安井博幸委員、奥土居帥心委員
4. 会議に付した事件	認定第1号 平成28年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について
5. 議事の経過	<p>9:30 開会</p> <p>栗山座長 開議宣告</p> <p><b>■教育委員会</b></p> <p><b>日程第1 認定第1号 平成28年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について</b></p> <p><b>篠山東部学校給食センター・篠山西部学校給食センター</b></p> <p><b>【主な説明】</b></p> <p>決算説明資料に基づき説明</p> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>安井委員 学校給食センター管理費について、両学校給食センターは同じような設備を備えており、また同じような保守点検を行っているものと考えますが、東部と西部の委託料の金額に差がある理由は何か。</p> <p>教育委員会 ネズミ等駆除などの東部において一括して入札及び契約をしているものもあるが、建物の構造や面積、設備の違いなどから、それぞれの給食センターで契約する委託料に差が生じる。また、東部においては平成29年度工事に係る設計業務委託を平成28年度に実施したことから、例年と比較して委託料が約44万円増額となっている。</p> <p>木戸委員 平成28年度は西部に比べて東部の方が施設改修工事等の工事請負費が大きいが、今後の施設改修の見通しはどうか。</p> <p>教育委員会 東部については、平成22年ごろから施設や設備を順次、改修・更</p>

	<p>新しており、まだしばらく続く予定である。西部については開所後、10年が経過しており、平成31年ごろから改修・更新が必要となってくる。今後、東西両センターで改修工事が時期的に重ならないよう、また工事費が平準化できるように、両センターで調整、検討しながら進めていきたいと考える。</p>
安井委員 教育委員会	<p>需用費の光熱水費の内訳について説明願う。</p> <p>西部では、電気代6,975,016円、上下水道代、7,138,648円、燃料費5,764,305円となっている。</p> <p>東部では、電気代5,951,139円、上下水道代、7,423,628円、燃料費5,488,250円となっている。</p>
安井委員 教育委員会	<p>電気については昨今、低額の供給業者があるが、給食センターでは業者変更等を行っているのか。</p> <p>平成28年度は従来の関西電力であるが、本年度から業者を変更している。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>野菜の地元産物の使用について、現状と今後どのような取り組みを行っていくのか、説明願いたい。</p> <p>給食に地元野菜を使用する割合の目標については、平成19年度から重量目標を設定し、現在も継続している。給食でよく使う野菜12品目の使用総重量の内、地元野菜を使用した重量の割合を25%に維持することとしている。さらに「篠山でこんな野菜もつくってるよ」ということを子どもたちに伝えて行くことを目的として、使用した野菜の総品目数の内の、地元野菜の使用品目数の割合の目標を平成28年度40%、平成29年度は41%とし、地元野菜納入団体に協力いただきながら取り組みを進めている。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>地元野菜の使用については、重量使用率で25%、品目使用率として40%という目標を達成しているが、今後、この数値を維持していくのか、あるいは、さらに高い目標を持って取り組んでいくのか、これまでの取り組みについて、担当部署としてどのように評価しているのか。</p> <p>重量使用率については、平成26年度に目標である25%を達成し、それ以降、重量の割合が徐々に増えてきていた。しかしながら、平成28年度は、夏場の大雨や冬場の大雪の影響で、20.7%まで落ち込んだ。今年度は、もう一度25%に戻すよう取り組んでおり、重量使用率については、25%を上限として、これをなんとか維持していきたいと考えている。また、品目数については、現在、2年ごとに品</p>

<p>奥土居委員 教育委員会</p>	<p>目使用率を1%ずつ増やしていくことを目標に進めている。 平成28年度の児童生徒の一人当たりの残滓kg数と、異物混入発生 件数等について説明願う。</p>
<p>教育委員会 教育委員会</p>	<p>給食の残渣について、平成28年度の食べ残しは東西で一人当たり 0.8kgとなっている。平成25年度に全国調査が実施されたが、そ れによると全国平均で食べ残し一人当たり7.1kgとなっている。篠 山市では平成25年度以降も調査を続けており、毎年0.7~0.9 kgの間で推移している。 異物混入については、平成28年度は、東部で4件、西部で6件の あわせて10件、平成27年度は16件あった。東部では、合成樹脂 2件、たわしの毛1件、糸くず1件の計4件の異物の混入があった。</p>
<p>奥土居委員 教育委員会</p>	<p>西部では、糸くず1件、毛髪2件、獣毛（豚の毛）1件、紙片1件、 きんかんの種が1件の計6件あった。 学校給食に篠山まるごと井を提供しているが、その事業効果につい てどのように評価しているのか。</p>
<p>奥土居委員 隅田副座長 教育委員会</p>	<p>篠山まるごと井については、毎年5月10日のまるごと井の日を基 準として、給食に提供している。まるごと井の定義として1. 篠山産 コシヒカリ、2. 篠山産の特産肉、3. 篠山産の山の芋又は旬の地野 菜を使用することとなっており、給食では、篠山産コシヒカリ、篠山 牛、篠山産の山の芋、それにゴボウなどを使用している。 事業効果について、まるごと井を提供し始めてから、子どもたちの まるごと井に対する認知度も上がり、例えば城東小学校においては、 まるごと井コンテストの実施や、城東味まつりに出店された。また、 毎日の給食ノートでは子どもたちの篠山の食材についての感想が多く 寄せられおり、食育として進んでいると考えている。</p>
<p>奥土居委員</p>	<p>篠山市では残渣量も少なく、特色のある学校給食が提供されており、 今後も継続した取り組みをお願いする。</p>
<p>隅田副座長 教育委員会</p>	<p>除去食の申請者数の推移について説明願う。 平成28年度の除去食申請者は、東部52名で平成27年度と同数、 西部が59名で平成27年度より6名増加した。東西あわせて、平成 27年度から6名増えて111名となっている。</p>
<p>隅田副座長 教育委員会</p>	<p>愛南町との交流給食について、現状と今後の方向性について説明願 う。 愛南町との交流給食について、平成27年度は6月にカツオカレー と河内晩柑（愛南ゴールド）を、平成28年度には、8月15日に篠</p>

山市と愛南町が姉妹都市提携を締結した際に、姉妹都市提携献立として9月に鯛の潮汁を、本年度も9月に愛南町交流献立として鯛の潮汁を提供した。一方、愛南町では山の芋、枝豆を学校給食で提供いただいている。今後も交流給食については、継続して取り組んでいきたいと考えている。

#### たんば田園交響ホール

##### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

##### 【主な質疑】

木戸委員 交響ホール市主催事業費について、自主事業の一般財源予算が6,748,000円に対して、決算額が9,086,722円となっており、一般財源が予算と比較して増加した要因は何か。

教育委員会 買取公演において、見込みよりも実際の入場者数が少なかったことが、一般財源が増えた理由である。買取公演の中で「劇団四季」については、お客さんからの要望があった公演で、650人の入場者を見込んだが、一般の入場が伸びなかった。また「DRUM TAO」は、数年前に開催したこともあり、再演の希望が多かったことから公演したが、見込みよりも入場者数が下回り、一般財源が379,786円増加した。次に、「オペラティックコンサート」は、篠山音楽協会から要望があり、実行委員会形式で開催した。70人から80人の合唱参加があったが、それが券売につながらなかった。「ダンスパフォーマンス」についても、市民のジャズダンスのグループより要望があり開催したが券売にはつながらず、1,351,474円の一般財源からの支出増となった。

自主事業については、毎年運営委員会で意見を求め、検討を行っているが、平成28年度は見込みどおりの結果とはならなかった。

木戸委員 公演を希望する要望は、どのように交響ホールに寄せられ、その要望に対して、開催の可否をどのように検討するのか。

教育委員会 公演ごとにアンケートを取っており、3割から6割の回答がある。アンケートには、今後、実施してほしい公演内容の記入欄を設けている。また、窓口でこういった催しを実施してほしいといった声を常に聴いている。さらに、各団体からの要望がある。そういった要望を運

木戸委員	<p>営委員会で諮り、開催の可否について検討を行っている。</p> <p>数年前に自主事業の一般財源予算は、600万円をラインに取り組んでほしいと意見を述べた。限られた財源でもあり、予算を意識した取り組みをお願いする。</p>
教育委員会	<p>「桂文珍ふるさと独演会」について、入場者数が見込みよりも多いにもかかわらず、事業収入が赤字となっているが、その理由は何か。</p> <p>また、「11匹のねことあほうどり」については、丹波篠山ふるさと基金を充当しているが、その使用目的に沿った事業であったのか。</p> <p>「桂文珍ふるさと独演会」は落語に親しんでもらうことを目的として、10年開催している。当初4年間は満席になっていたがそれ以降は、年々入場者は減少している。その対策として、平成27年度はデカンショ祭に合わせて、四季の森で開催したが、入場者数は伸びるところか、さらに減った。そうした状況の中、28年度は、年度途中で方向転換をし、当初計画していなかったシルバー割引（入場料1,500円）を取り入れると、シルバー入場者数が増加した。しかしながら、割引の入場者が増えたことで、収入が伸びない状況となり、一般財源が増える結果となった。</p> <p>「11匹のねことあほうどり」は、市内小学生を無料とし、それをふるさと基金で充てるとしていたが、無料対象とならない市外の小学生や一般入場者が増えたため、入場料収入が増えた。</p>
木戸委員	<p>ふるさと基金の充当は、事業収入の不足分を補てんしようとするものであると認識していた。事業全体で黒字になれば、その黒字部分に対して基金を充当することは不要であると考えているが、どうか。</p>
教育委員会	<p>ふるさと基金は、市内小学生の入場料を無料にすることから、それに充当するものである。</p>
安井委員	<p>「週末よしもお笑いライブ」について、入場者数が1,619人となっているが、これは2回公演か。</p>
教育委員会	<p>「週末よしもお笑いライブ」については、会館使用料とチケット販売経費をホールが負担し、入場料収入の10%がホールの収入となる契約内容であった。当初計画では、1回公演であったが、吉本から新喜劇も行いたい旨の相談があり、2回公演となった。いずれも満席となり入場料収入が増加した。</p>
栗山座長	<p>「オペラティックコンサート」について、実際観覧してみると、非常に価値のある公演であるが、入場者が435人と少なく、残念である。広報活動についてももう少し工夫ができなかったのか。</p>

教育委員会	ご指摘のとおり広報活動について、考えていかなければならないと感じている。広告料には経費がかかるため費用対効果を考ながら検討する。また、入場者が少なかった原因として、入場料金4,000円の設定も少し高かったのではないかと考えている。
奥土居委員	教育委員会の事業であることから、利益を生む必要はないものの、当初予算で計上した一般財源で計画的な自主事業の実施に努めるとともに、教育効果を高めてほしい。
教育委員会	平成29年度はご指摘いただいたことにも留意し、事業を進めている。
隅田副座長	毎年、佐渡裕さんが来られるが、今後の方向性とこれまでに行った中高生へのワークショップでのエピソードを教えてほしい。
教育委員会	佐渡裕さんは、4年来ていただいているが忙しい方なので、確約ができないが、来年度も来ていただけるよう話をしているところである。 エピソードとしては、中学生が佐渡さんに質問し、緊張しない方法を教えてほしいと尋ねたところ、「緊張したくないなら出なければよい。緊張して出る前向きな姿勢が素晴らしいから気にしなくてよい。」と話されたことが印象に残っている。
栗山座長	交響ホール管理費について、嘱託参与にはどのようなことをしていただいているのか。
教育委員会	月3回お越しいただき、クラシックコンサートの相談や提案、また年2回の運営委員会でご意見をいただいている。
栗山座長	嘱託参与は、太いパイプのある方でもあり、色々のご意見を伺って、ホール運営に生かしてほしい。

#### こども未来課

##### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

##### 【主な質疑】

木戸委員	放課後児童対策事業について、指導員等の報酬が他市と比べて少ないとの声を聞くが、担当課としてどのように考えているのか。
教育委員会	現在、兵庫県下の状況がわかる資料を入手し、調査しているが、相対的に見ても報酬は安いと認識している。年度途中での報酬額の変更は難しいことから、来年度に向けて調整を行いたいと考えている。

木戸委員 教育委員会	どのくらい報酬を上げようと検討しているのか。 人事や報酬額については、教育委員会だけで決められるものではなく、他の臨時職員との兼ね合いもあることから、総務課と協議を行いたい。また、担当課としても職員を確保していく必要があることから、財政当局と協議するうえで、報酬額については適正な水準まで上げられるように考えていきたい。
木戸委員 教育委員会	保育士の処遇改善や幼児教育関連の支援員等の報酬についてはどのように考えているのか。 常勤の保育士の給料についても他市と比べて高い方ではないと認識しており、昨年度から総務課と調整している。その中で、数年継続して勤務する任期付職員については、段階的に給料が上がるシステムを導入すると聞いている。他の職種についてももしっかり調整していきたい。
木戸委員 教育委員会 木戸委員	現状、どのような認識を持っているのか。 特に、非常勤職員の時給については低いと認識している。 公立の保育士の処遇については改善する方向であると認識したが、私立の保育士の処遇改善についてはどのように考えているのか。
教育委員会	私立認定こども園については、平成27年度に子ども子育て支援制度が創設され、施設型給付として、保育士の処遇改善分も含めた運営費が補助金として交付されている。また、現在、国において新たな処遇改善も示されており、それが決まり次第、補正予算として計上する予定である。
木戸委員 教育委員会	病児保育事業について、病児保育の登録者数の推移と今後の見込みについて説明願う。 現在、254名の方に登録いただいている。利用者は9月末時点で115名の方に利用していただいております。9月だけで53名の利用があった。今後、インフルエンザ等が流行する時期には、益々利用者が増えるのではないかと考えている。施設の状況としては、定員を概ね4名としているが、病状が同じ場合などで医師の判断により、定員を超えても受け入れていただけると聞いている。
木戸委員 教育委員会	今後、益々利用が増えることが想定されることから、常に状況を把握しながら、早めに対応いただくようお願いする。 多紀地区に認定こども園が整備される予定であるが、篠山市全体の認定こども園の整備については、どのように考えているのか。 認定こども園の今後の方向性について、これまでの将来構想とは変

わってきており、検討していかなければならないことである。担当課としては、今ある幼稚園が全て認定こども園になれば理想的であると考えるが、財政面や地域の方々の理解なども考慮する必要があり、当面は、認定こども園を整備していく予定はない。

木戸委員

認定こども園の整備については、味間、たきの整備で一旦終了とのことであるが、地域から要望が出てきたので整備するという事ではなく、今後、課としてしっかりとしたビジョンを持って取り組んでいただきたい。

私立認定こども園運営事業について、私立の認定こども園では、3年保育が行われており、入園希望も多いと考えるが、受入れができないなどの状況はあるのか。

教育委員会

平成29年度の3年保育の定員は、ささやまこども園10名、富山こども園15名となっている。3年保育については定員を超えて受入れができないこととなっており、抽選により入園者を決定することになる。今年度、入園できなかった園児が2園併せて10名程度と聞いており、3年保育のニーズがあると認識している。来年度に向けては、認定区分の調整も図りながら、認定こども園と連携し、対応していきたいと考える。

木戸委員

3年保育については、ささやまと富山こども園の圏域の方のみが利用できるが、全市的には、多くのニーズがあると考える。そういったことについても今後、検討項目の一つとしていただきたい。

幼稚園預かり保育事業について、城北畑、岡野小学校区には預かり保育が無いが、実施していない理由は何か。

教育委員会

城北畑、岡野、篠山小学校区には、ささやまこども園と富山こども園が受け皿としてあるため、預かり保育は実施していない。

木戸委員

こども園があることでカバーできているとは思われていない保護者もあるので、そういった声にも耳を傾けながら、検討していただきたい。

幼保一体化推進事業に関し、ふた葉プロジェクトの推進状況と課題について説明願う。

教育委員会

ふた葉プロジェクトについては、平成28年度にこれまでの取り組みの一つの成果として、日めくりメッセージを作成した。これで終わりという事ではなく、メッセージに記載されているような取り組みがなされるように考えている。また、市広報8月号で特集しているように各課で連携を図り、子育てしやすいまちとなるように取り組みを進



	めたいと考えている。
木戸委員	日めくりメッセージは、どのくらいの方に行き渡っているのか、疑問に感じている。追跡調査をするなど、常に現状を認識しながら取り組んでいただきたい。
安井委員	放課後児童対策事業について、当初予算より約1,400万円少ない決算となった要因は何か。
教育委員会	それぞれの科目の積み上げではあるが、主なものは、非常勤嘱託員の報酬であり、夏休み等長期休業時の指導員の確保ができなかったことが原因である。
安井委員	放課後児童対策事業について、児童クラブへの委託料や補助金の交付基準はどのようになっているのか。
教育委員会	10クラブの内、味間、古市の2クラブは直営であるため、必要な経費を計上している。委託している篠山や今田等の6クラブについては、直営の児童クラブを基準に委託料を積算している。また、民設民営の城南、多紀の2クラブについては、国の補助要綱を基に市で補助金交付要綱を策定しており、その要綱に基づき交付している。
安井委員	児童福祉一般事務費について、年収約360万円以下の世帯に対して、保育料の負担軽減を行っているが、その対象者はどの位の割合か。
教育委員会	全体の中の割合は把握していない。
安井委員	年収約360万円のラインはどのように決まったのか。
教育委員会	国の制度改正によるものであり、国で設定されたものである。
奥土居委員	平成28年度は、保育園や認定こども園において、保育士や教諭は必要人数を配置できたのか。
教育委員会	園児何人に対し保育士何名と言う基準の職員は確保できたが、長時間対応や夏休み等長期休業時対応の職員が確保できなかった。
奥土居委員	クラス担任は、正職員や非常勤職員で対応できたという事か。
教育委員会	そうである。
奥土居委員	現状としては、不足している園もあると聞いているので、状況をしっかりと把握し対応いただきたい。
	味間認定こども園整備事業について、認定こども園開園後すぐに園庭補修工事を行っているが、設計や施工に瑕疵はなかったのか。
教育委員会	園庭補修工事については、暗きよう排水を整備した。補修工事施工後は、スムーズに排水ができています。設計や施工の瑕疵によるものではないと考えており、広い園庭の雨水が最終的に集まってくる所なので仕方がないと認識している。

奥土居委員 教育委員会	昨日もけっこう雨が降ったので、水が溜まっているのではないかと。昨年、雨が多かったこともあり、水が溜まるが多かった。最終的に水が集まってくるころなので、ある程度は仕方がない状況であるが、昨年と比べて、今はかなり改善できていると認識している。
奥土居委員 隅田副座長	再度、現場の状況を確認してほしい。 幼稚園管理費について、平成28年度は、篠山幼稚園の年少入園者が1名であり、その存続について方向性を決めるべきであったと考えるが、担当課としてどのように考えているのか。
教育委員会	平成29年度は、年長は1名であるが、年少が3名入園された。決してよい状況とは考えにくいと、今すぐにどうするかという判断は難しい。認定こども園や預かり保育の状況などもみながら、篠山、たまみず、岡野幼稚園を含め、今後の在り方を検討していかなければならないと考えている。
隅田副座長	年長1名、年少3名では適切な幼稚園教育が難しいのではないかと考える。複雑な要件はあると推察するが、市として適正な方向性を早期に出すべきであると要望しておく。
栗山座長	篠山、たまみず、岡野幼稚園の園児数が少ない中、よい教育をされていると認識はしているが、教育をする上で少ない人数では限界があると考える。今後の方向性を検討する必要があり、今後の課題として取り組んでほしい。

## 学事課

### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

### 【主な質疑】

木戸委員	学校給食総務費に関し、平成28年度の学校給食費の滞納繰越分が約1,370万円、徴収額が約75万円となっており、1,300万円弱が未収となっている。今後、根気強く徴収を続けていくのか、あるいは、不能欠損も視野に入れた対応をとるのか、今後の方向性等について説明願う。
教育委員会	学校給食費の未収金については、口座再振替の実施や督促、学校園による納入啓発活動や年2回の教育委員会事務局職員による訪問徴収等を行っており、徴収率向上の取り組みを行っている。さらに平成2

	<p>8年度からは保護者の同意を得て、児童手当からの充当や20万円以上の滞納者については、弁護士に徴収事務を委託するなどの取り組みを行っている。児童手当からの充当や弁護士からの文書催告についても分割納付に至るなど、非常に効果的であることから、不能欠損ではなく、今年度においても引き続き徴収活動に取り組んでいきたいと考える。</p>
木戸委員	<p>不能欠損ではなく、引き続き徴収活動を行うとのことであるが、滞納者の所在は把握できているのか。</p>
教育委員会	<p>弁護士に委託している滞納者で所在が不明となっているが、職権による調査ができることから、所在を掴めると期待している。</p>
木戸委員	<p>平成30年度に任期付職員として弁護士を採用する予定であると聞いている。教育委員会としても相談等が行え、さらに徴収活動が進むのではないかと。</p>
教育委員会	<p>任期付の弁護士の業務内容及びその棲み分けについては、未確定であるが、常勤であれば相談もしやすく頼りになる。教育委員会だけでなく、市全体の債権回収が円滑に進むよう調整できればと考える。</p>
木戸委員	<p>学校教育総務費について、遠距離通学補助対象児童生徒が現在利用している公共交通機関が、公共交通の再編に伴い、利用ができなくなる児童生徒はないのか。</p>
教育委員会	<p>公共交通再編の協議の段階で、通学に使用する公共交通に支障が出ないように担当課と調整を行っており、これまで通り路線バス等は運行することになる。</p>
木戸委員	<p>学校施設維持管理費について、ペレットストーブを多紀小学校に試験的に導入されたが、今後の整備方針についてはどのように考えているのか。</p>
	<p>また、今後における各学校への空調設備の整備についてはどのように考えているのか。</p>
教育委員会	<p>ペレットストーブの導入により、児童の森林環境を守ろうとする意識の高揚を図ることができた。児童からは、「優しい暖かさのある暖房器具である」、「デザインが美しい」等の声を聞いている。一方、広い部屋に設置していることもあり、部屋全体を暖めるには時間がかかる等の課題も確認している。今冬の状態も検証した上で、今後の方針を検討していきたい。</p>
	<p>普通教室における空調設備の整備については、近隣市での取り組みも進んでいることを把握しており、その必要性は認識している。しか</p>

	<p>しながら、現在、各学校施設の大規模改修を行っているところでもあり、多額の経費を要する空調設備の整備については、財政部局とも協議をしながら検討していきたい。</p>
木戸委員	<p>ペレットストーブの導入について、前向きな方向性で考えているのか。</p>
教育委員会	<p>市において、ぬくもりの郷にペレットボイラーを導入しているが、その燃料となるペレットについては、現時点において、市内業者でその全量を確保できず、市外業者から購入している状況にある。そうした需要と供給のバランスや石油ストーブの更新時期、空調設備の整備も踏まえながら検討していく必要があると考えている。</p>
木戸委員	<p>市内においてペレットの供給体制が確立していないことは認識しており、ペレットストーブの導入については、農都創造部とも調整しながら慎重に検討してほしい。</p> <p>以前の一般質問においては、空調設備の整備を前向きに検討する旨の答弁があったが、教育委員会としては、いつ頃を目途に整備を考えるのか。</p>
教育委員会	<p>教育委員会として、各学校の空調設備は整備していきたいと考えているが、大規模改修工事もまだ残っている中、空調設備だけでなく電気設備（キュービクル）の整備も含め、市長部局と協議し、財政計画に沿った形で進めていく必要があると考えている。こうしたことから、基本的には、現在、行っている大規模改修計画が終了してからの整備となると考えている。</p>
木戸委員	<p>空調設備の整備が数年先になるのであれば、例えば、庇を長くするなど、空調に代わる方法もあると考えるので、多角的な視点で調査・研究いただきたい。</p>
隅田副座長	<p>学校施設維持管理費について、丹南中学校では雨天時に廊下に雨が吹き込み、その都度、先生がモップ掃除等の対応に追われているとも聞く中、雨が吹き込みにくくなるような対策を検討されたことはあるのか。</p>
教育委員会	<p>丹南中学校の廊下については、大規模改修時に排水路の改善に加え、廊下の表面シートを滑りにくいシートに変更する対策を行ったが、構造上、雨等の進入をすべて防止することは難しい。</p>
隅田副座長	<p>味間認定こども園では、移動式のパネルを設置する対策を講じており、構造上の問題や費用面での課題もあると考えるが、対策を研究いただきたい。</p>

隅田副座長	学校教育総務費について、自転車保険加入率の向上が必要と考えるがどうか。
教育委員会	自転車保険への加入については、各学校を通じて啓発活動を行っていきたいと考える。自転車保険加入補助金については、平成29年度も平成28年度の交付率に近い率になるのではないかと予想しているが、自転車保険に加入していても自転車保険加入補助金の交付申請を行っていない保護者もいると考えており、学校と連携をして啓発強化に取り組んでいきたい。
安井委員	小学校教育振興費について、コンピュータリース料の内訳が6校となっているが、他の小学校にはコンピュータはないのか。
教育委員会	リース料の支払い対象校数は6校となっているが、教育用コンピュータは全校に設置している。
安井委員	小学校教育振興費と中学校教育振興費のコンピュータリース料では1台当たりのリース単価が異なるが、その要因は何か。
教育委員会	小学校と中学校ではソフトウェアや周辺機器が異なるためである。
安井委員	市職員の一人一台パソコンは、買い取りとなっているのに対し、学校用をリースとしている理由は何か。
教育委員会	市職員の一人一台パソコンはビジネス用で一般的な仕様となっているが、学校用のパソコンについては、導入後のソフトウェアも含めた長期保守が必要な仕様となっており、メンテナンスを含めたリース契約としている。

## 中央図書館

### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

### 【主な質疑】

安井委員	図書館管理運営費について、蔵書点検の結果、不明本の状況はどうであったのか。
教育委員会	毎年5月に蔵書点検を実施しており、今年不明本は120冊であった。昨年は148冊で減少している。
安井委員	監視カメラが設置されているが、監視カメラを設置していると表示をすることで、さらに抑止力が高まるのではないかと。また、ダミーの監視カメラは、コストパフォーマンスも高く、盗難等の防止にもつな

教育委員会	<p>がる。市民の大事な本を盗難等から守れるように努めていただきたい。</p> <p>現在、館内を4台の監視カメラで監視しており、ダミーも10台設置している。4台の監視カメラが老朽化により作動時に不具合が生じることもあり、計画的に修繕したいと考えている。また、今後、ダミーの監視カメラの台数も増設したいと考えている。</p>
安井委員	<p>不明本の傾向はあるのか。例えば、高価な本や貴重な本が不明となっているケースはあるのか。</p>
教育委員会	<p>蔵書点検の結果から、不明本は一般書79冊、金額で121,612円、児童書16冊、金額で18,535円などであった。1冊1,000円前後の本が多い。</p>
安井委員	<p>郷土資料等の貴重な本が不明となっていることはないのか。</p>
教育委員会	<p>郷土資料等の貴重な本については、書庫に入れて管理しており、問題はない。</p>
栗山座長	<p>平成28年度は7,403冊の図書を購入しているが、どのような方法で図書を選定し、購入しているのか。</p>
教育委員会	<p>TRC図書館流通センターから本を選定し、購入している。また、市民からのリクエスト本を選定し、購入している。</p>
栗山座長	<p>どのような過程を経て、購入に至るのか。</p>
教育委員会	<p>毎週司書5、6人で選書会議を行い、購入図書を選定している。最終的に館長が購入を決定する。</p>
奥土居委員	<p>例年、図書購入費は同規模の予算であると認識しており、これまで年間約9,000冊の図書の購入が平成28年度は7,403冊の購入に留まっている。その冊数が減った理由は何か。</p>
教育委員会	<p>参考図書などの高価な本や学校図書館連携協議会の要望により学校関係の本を多く購入したために冊数が減っている。</p>
木戸委員	<p>市民センター図書コーナーのリニューアルにより、子育て支援コーナーが設置されたが、そこにはどのようなジャンルの本が配置されているのか。</p>
教育委員会	<p>若い子育て世代を対象とした子育てに関する本や料理、ファッション関係の本を置いている。また、市からの子育てに関連する情報も集約している。</p>
木戸委員	<p>リニューアルの効果についてはどうか。</p>
教育委員会	<p>図書コーナーのボランティアの方々からは、新聞の閲覧場所も広く、日当たりのよい場所に移動させることができ、利用者の方に喜んでいただいている。また、子育て世代の利用者も以前に比べて増えている</p>

	と聞いている。
木戸委員	子どもの読書活動推進計画の改訂について、改訂のポイントとその内容について、説明願う。
教育委員会	平成28年度は、子どもの読書活動推進連絡会を開催し、見直しについて意見交換を行った。現在、改訂を進めているところである。
木戸委員	改訂はいつごろの予定か。
教育委員会	今年度内に子どもの読書活動推進連絡会各委員の意見を集約し、来年度に改訂したいと考えている。
安井委員	清掃業務を篠山市シルバー人材センター他2社に委託しているが、それぞれどのような役割分担になっているのか。
教育委員会	篠山市シルバー人材センターは日々の館内清掃業務、日本エコロジ(株)は床のワックスがけや窓ガラスの清掃、日本管財(株)は館内の空気環境の測定や病害虫の防除など建物衛生管理業務を行なっている。
木戸委員	くつろぎながら読書するカフェコーナーなどの環境整備について、計画はあるのか。
教育委員会	開館当初より飲食スペースとして湯茶コーナーを設けているが、それ以上のことは考えていない。
栗山座長	ささやま図書館友の会は、よい活動をされており、友の会の意見も参考にしながら、図書館運営を行ってほしい。

## 学校教育課

### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

### 【主な質疑】

隅田副座長	学校教育充実事業について、英語の教科化が始まるが、中学校では受験英語が課題だったと思う。小学校の英語教科化では英語に触れあうことが主軸であったかと思うが、市教委では教科化に向けての最低限の準備は計画通りに進んでいるのか。
教育委員会	「国際理解教育と外国語活動に係る篠山モデルプラン」については、昨年度、外国語活動に係るワーキングチームを中心に、篠山市の外国語教育の骨子をまとめている。現在、来年度に向けての準備を進めている。外国語に慣れ親しむことを目的に取り組んでいる。また、中学校での学習も見据えて進めている。篠山モデルプランは小学校を対象

	<p>としているが、中学校の教員もワーキングチームに加わり、今年度に行うべき内容については、現在順調に取り組みを進めている。</p>
隅田副座長	<p>外国語指導助手（A L T）が4名から8名に増員となった。アメリカやオーストラリアからのA L Tが主流であるが、他市町では、フィリピン人の教員資格をもったA L Tを採用している事例がある。アメリカ等と比べて渡航費等も安く、教師の資格を持ったよい人材を呼ぶことができると思うが、そのような情報は把握しているのか。</p>
教育委員会	<p>本市では現在J E Tプログラムを通じて派遣される者を雇用している。他のプログラムでの雇用は考えていないが、もしも、A L Tの候補があるのであれば、一度調べておく。</p>
栗山座長	<p>学校教育充実事業について、子どもたちの英語の習熟度はどうか。</p>
教育委員会	<p>現在のところ、習熟度を計る指標は持っていない。外国語に抵抗のあった子どもたちが、A L Tと抵抗なく、楽しんで授業に取り組んでいる姿は学校訪問等により確認している。どの程度英語の力がついてきたかの指標については、今後検討していく必要があると考える。</p>
木戸委員	<p>学校教育充実事業に関し、教職員の指導力の向上について、その成果をどのように捉えているのか。また、その指標はあるのか。</p>
教育委員会	<p>外国語活動については小学校では平成30年度からの導入となるが、現在、教職員の指導力向上に努めているところである。英語を教えることに抵抗のあった小学校の教員も、篠山モデルプランの作成により、比較的抵抗なく指導できるようになっているが、子どもたちへの成果を求められるまでには至っていない。</p>
木戸委員	<p>例えば、教員にT O E I Cの資格を取得させるなど、検討してはどうか。</p>
教育委員会	<p>今のところ検討はしていない。文科省からの調査では、英検等の資格取得についての調査項目があり、積極的にチャレンジを勧めている。</p>
木戸委員	<p>具体的に数値目標を設定して取り組む必要があるのではないか。</p>
教育委員会	<p>本年度の小学校教員採用試験から英語が試験科目に加わり、ようやく土台ができ始めたところである。具体的な数値目標の設定までには至っていない。</p>
隅田副座長	<p>学校教育充実事業について、平成28年度は学力向上プロジェクトチームにおいて算数のDVDを作成したとのことであるが、今後、算数以外の教科についてもDVDを作成する予定なのか。</p>
教育委員会	<p>学力向上プロジェクト委員を中心に、本市の目指す「聞き返しのある授業」をDVD化した。教職員に示すには、このような具体物が必</p>



要である。数学・算数等の授業は流れが明確で分かりやすくDVD化したが、教科にとらわれるつもりはない。DVDの作成については必要に応じ検討する。

隅田副座長

算数とともに国語の読解力が身に付けば、他の教科でも対応ができると考える。篠山市の子どもたちの学力向上に繋がるDVDを作成してほしい。

安井委員

学習環境支援事業について、28年度の決算額と27年度の決算額約1,681万円の差の要因は何か。

教育委員会

平成27年度は教科書改訂があり、教科書や教師用の指導書を購入したことから、28年度よりも大きい決算額となっている。

栗山座長

学校環境支援事業について、教職員が経験を積む中で指導力が大事であり、そのために研修が非常に大事だと考えるがどうか。

教育委員会

以前は、採用1年目の教員のみを対象として研修会が行われていたが、現在は、採用から3年目までの教員を対象とした研修が義務付けられている。本年度は部落差別に係る研修を実施し、採用5年目以内の教員にも参加してもらった。教員の多忙化に繋がらないよう精選し、内容の濃い研修になるよう取り組んでいきたい。

栗山座長

全学年の子どもを見るのが育てる面から見ても大事である。その意識を持ってほしい。

安井委員

学校地域連携事業について、日本語指導が必要な外国人児童生徒21人は、校区は限られているのか。

教育委員会

保護者の勤務先により、校区が比較的限られている。

安井委員

外国人児童生徒指導補助員の派遣により、日本語指導が必要な外国人児童生徒は、問題なく日本の授業を受けることができているのか。

教育委員会

日本の授業を理解する点においては課題も見られる。保護者と子どもがどの程度日本語を話すことができるか、事前に聞き取りし、その段階に応じて指導補助員の派遣回数を決めている。授業をしていく上で困難なケースがある場合は、指導補助員と支援員の複数体制で支援を行っている。

## 社会教育課

### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

**【主な質疑】**

- 木戸委員 篠山総合スポーツセンター管理費について、平成28年度から指定管理者制度を導入したことで、施設全体としては利用者数が増加している。しかしながら、体育館やテニスコート等では利用者が増加しているが、逆に人工芝グラウンド等は減少している。そのようなことも含め、指定管理者制度導入の効果等について、どのように考えているのか。
- 教育委員会 利用者数の増加は、通常の体育館やグラウンドの利用に加え、自主事業の実施などによる指定管理者制度導入の効果だと考える。指定管理者は、市民へのPRなど人を集める取り組みを行っており、そうしたことなどが利用増につながっていると考える。
- 木戸委員 人工芝グラウンドや会議室の利用が減少している原因は何か。
- 教育委員会 会議室については、人工芝グラウンド利用者の荷物保管場所などにも利用されており、利用申請書に記載されている人数をカウントしていることから、実際とは乖離がある。人工芝グラウンドについては、ホッケー大会開催の有無が大きく影響していると考えます。
- 安井委員 スポーツセンター内で物品を販売しているが、その売り上げの一部は市の収入となるのか。
- 教育委員会 売り上げ全てが会社の利益になるわけではなく、自主事業の経費の一部に充当されるようになっている。
- 安井委員 物品販売収入は、決算書や決算説明資料には記載されないのか。
- 教育委員会 市の決算書等ではなく、指定管理者の会社の決算に反映される。
- 安井委員 テニスコートがかなり傷んでおり、リニューアルする必要があるのではないかと。利用者が増加傾向にあるにもかかわらず、この状態のままでは減少してしまうのではないかと。必要なものには投資すべきと考えるがどうか。
- 教育委員会 利用者からもそうした声を聴いており、現場も確認している。全面的にリニューアルすると多額の経費が掛かるため、まずは一部のみ急急に修繕できないか検討を行っている。全面的なリニューアルについても検討したいと考える。
- 隅田副座長 西紀運動公園管理費について、指定管理者制度開始後、スイミングスクールの利用者が年々増えている要因と、多目的ルームの利用者が平成27年度に急激に減少した要因は何か。
- 教育委員会 スイミングスクールについては、水泳競技に力を入れられており、県大会に出場するような選手も輩出されている。そうした状況もあり、

	<p>子どもを通わせる保護者が増えており、利用者の増加につながっていると考えている。多目的ルームについては、以前ヨガ教室として利用されていたが、参加者数が思うよう伸びず、ニーズもあまり認められないことから、現在取り組みが行われていないこともあり、利用が減少している。今後、何らかのニーズがあれば、多目的ルームの活用については、指定管理者で検討されることになると思う。</p>
安井委員	<p>青少年育成一般費について、以前も丹波少年自然の家負担金を減額できないか、との質問を行ったが、篠山市だけ減らすことができないのであれば、負担金に見合った利用を学校等に働きかける必要があるのではないかと。</p>
教育委員会	<p>負担金については、篠山市だけが減らすことはできない。平成28年度の丹波少年自然の家の利用者は438名であり、学校ではなく各団体の利用であった。篠山市の子どもたちが自然学校などで丹波市にある丹波少年自然の家に行っても篠山市と同じような環境にあり、海に行っている。学校での利用は難しいと考えるが、今後も利用促進の呼びかけ等を行っていききたい。</p>
奥土居委員	<p>篠山市展について、平成27年度と比較して、来場者数と出品数ともに減少しているが、その要因は何か。</p>
教育委員会	<p>来場者については、平成28年度は市展の会期が前年度より1日短く、8日間になったことが影響していると考えている。これまでは会期が8日の場合は900～1,000名、9日の場合は1,000～1,200名で推移しており、これまでと大きく変わらないと考えている。また、出品数についても、平成28年度は前年度よりも減っているが、過去5年間を見ると、ここ2年は増加傾向であることから、今年度と来年度の推移を見たいと考えている。</p>
奥土居委員	<p>部門別ではどのような状況か。絵画は横ばいで、写真が大きく増えたのか。</p>
教育委員会	<p>絵画は若干の増、写真は大幅な増となっている。</p>
奥土居委員	<p>入選者は、市外の方が多くはないか。篠山市民の出品者を育成するような取り組み、例えば、絵を描く人を増やす取り組みが必要ではないか。</p>
教育委員会	<p>これまでは従来通り展示するのみであったが、今後はおもてなしをしっかりとすべきであると考えている。例えば、床机を置いてお茶を振る舞ったり、丹波焼を販売したりなど、空間を楽しんでもらう仕掛けが必要だと考えている。市展に来てもらった人が居心地のよい空間</p>

となるように考えていきたい。

かつては文化祭で各地の絵画教室の作品が展示されていた。こうした絵画教室ということまでは難しいが、公民館と連携して芸術文化の振興を考えていきたい。

栗山座長

ひょうご放課後プラン（子ども教室型）事業について、よい取り組みだと考えるが、岡野、西紀、味間の3教室で実施している理由は何か。

教育委員会

地域と連携しながらボランティアの力を借りて地域住民との交流活動などに取り組む、基本無料の取り組みである。この事業の実施には、学校等施設の利用や教室の企画運営に関わるコーディネーターの確保、子どもたちへの指導者となる地域のボランティアスタッフの協力など、様々な条件があり、現状ではそうした条件が整っている3教室のみでの開催となっている。また、今年度より教室の継続的な開催に向けて、コーディネーターや指導者の研修会など人材育成にも取り組んでいる。

栗山座長

この事業は、よい取り組みであるので、他の地区への拡がりを期待している。

保健体育総務費について、様々な団体に対して補助金を交付しているが、篠山市スポーツクラブ21連絡協議会への補助金比其他団体に比べて少額である。地域と連携して取り組みには支援が必要だと考える。補助を減らせば地域が疲弊してしまうと考えるが、今後の支援について、どのように考えるのか。

教育委員会

スポーツクラブでは、地区毎に内部留保がある団体や予算の少ない団体など、様々な状況があり、一律ではない。当初県が推進されたときは、自発的、主体的に地域でスポーツに取り組むということであった。予算が少なくなれば活動に支障をきたすところもあると考えるので、一律に補助するのではなく、例えば、事業計画を策定いただき、その内容をもとに補助するなど、必要に応じて検討する必要があると考える。

安井委員

ひょうご放課後プラン（子ども教室型）事業について、活動内容が各教室で統一したものではないが、教育委員会として方針があるのか。

教育委員会

地域でどのような活動をしたいのか、放課後に子どもたちをどのように育てていくのか、ということが大事である。各地域で考えて活動いただいていることを支援する取り組みであり、教育委員会が活動内容等を指示するものではない。

## 文化財課

### 【主な説明】

決算説明資料に基づき説明

### 【主な質疑】

安井委員 文化施設管理費について、4文化施設のうち、歴史美術館の入館者数が減少した要因は何か。

教育委員会 平成27年度に開催した「刀剣展」が好評で、その来場者が多かったことが一因だと考える。

安井委員 文化施設管理費について、青山歴史村の入館者数の増加は、デカンショ館設置によるものか。

教育委員会 そうである。

木戸委員 デカンショ像に関して、市民や観光客等の声は聴いているのか。

教育委員会 創造都市課がデカンショ祭の時にアンケート調査を実施している。集計結果等の詳細については把握していない。

地方役所門を移設し、プロムナードを整備したことで、昨年と比べて今年のデカンショ祭の開催時の入館者が倍増した。創造都市課では、今年度さらに、入口に看板を設置し、デカンショ館への誘導を高める取り組みを行っていく。

隅田副座長 脊椎動物化石保護・活用事業について、宮田の岩石のクリーニング作業は、いつ頃から実施されるのか。

教育委員会 岩石は、人と自然の博物館に保管されており、順次、クリーニングが進められている。なお、今年度買上げ予定の宮田の土地については、現在税務署と協議して進めている。宮田にはまだまだよいものがあるといわれており、時間をかけて進めていきたい。

木戸委員 文化財保護管理費に関し、文化財や民族芸能等の活用について、今後、ICTを活用した取り組みが必要ではないか。

教育委員会 歴史文化基本構想を策定する中で全集落に対する悉皆調査を行い、文化財の掘り起こしを行った。それをデータ化しており、市民や学術機関から問い合わせ等があれば情報提供している。

木戸委員 社会教育分野では、例えば、AR技術を活用することで可能性が大いに拡がると考えるがどうか。

教育委員会 AR技術を活用した丹波篠山NAV Iを昨年5月から利用を開始している。今年度から、文化庁補助事業の中で、丹波篠山NAV Iを改良し、古地図を見ながら街歩きができる「古地図さんぽ」事業を進め

木戸委員	ており、さらに可能性が広がる取り組みにつなげたいと考える。 ターゲットを小中学校に絞って進めてはどうか。社会教育として市民に還元、周知する方向に視点を置くことで、ARソフトも効果的な活用が図れると考える。ぜひ検討してほしい。
教育委員会	学校教育の教材に関連することでもあり、学校教育課とも協議したい。
栗山座長	史跡篠山城跡保存修理事業について、篠山城跡の整備計画について説明願う。
教育委員会	旧市民グラウンドの広場整備を計画しており、今年度は設計をする予定である。
教育委員会	旧市民グラウンドは、もともとは馬場であったことから、その状態に戻す方向で計画している。さらに高石垣がよく見え、散策できる広場とするために、土塁にある樹木を伐採したいと考えている。樹木については、JAの事業で植樹したものであるが、伐採の了解は得ている。昔のように南堀からも見える状態にするなど、国の方針に合わせて保存管理していきたいと考えている。
栗山座長	内堀の復元についてはどうか。
教育委員会	内堀の復元については、すべて石垣が存在したかどうかの確実な資料がないこともあり、一定の修景は行いたいと考えている。それよりも高石垣の落石や傷みが進んでいることを教育委員会として危惧している。そうしたことから、内堀の復元は一定の目途をつけ、篠山城の価値である高石垣をしっかりと守るように国庫補助事業を有効活用していきたいと考えている。これまでは内堀については、すべて石垣を積むという方針であったが、文化庁とも協議しながら、修景上、見苦しくないように昔の形に復元したい。また、一部では土羽を立ち上げるなど必要最低限の整備を行うとともに、河原町方面への動線の確保など、長期的な計画で取り組んでいきたい。
<b>教育総務課</b>	
<b>【主な説明】</b>	
決算説明資料に基づき説明	
<b>【主な質疑】</b>	
隅田副座長	畑グラウンド施設整備事業について、雨が降ると畑スポーツ施設の

	グラウンドの土が水路や水田に流れ込むと聞いているが、現状はどうか。
教育委員会	完成直後は、ご指摘の状況であったが、現在は法面に草が茂っており、それが土留めとなって土の流れ落ちはほぼなくなっている。
奥土居委員	旧学校施設管理費について、畑複合教育施設にあるこども発達支援センターと畑スポーツ施設の利用者とは、グラウンドの利用について棲み分けはできているのか。
教育委員会	こども発達支援センターは平日のみの利用であり、畑スポーツ施設の利用は主に休日利用であるため棲み分けはできている。
木戸委員	平日に地域の子どもなどが遊ぶことはないのか。
教育委員会	そうした利用もあるが、こども発達支援センターの職員の方も意識して見守っていただいております、もしこども発達支援センターと利用が重なったとしても、混み合っ使えないという状況にはない。うまく調整できていると認識している。
奥土居委員	こども発達支援センターについては、法改正によりグラウンド設置が必要になると認識しているが、そういった点について問題はないか。
教育委員会	こども発達支援センター利用者は平日であるため、共用は十分可能であると考えます。法改正については確認する。
奥土居委員	事務局費について、予算現額に対して執行率が低いと考えるが、その要因は何か。
教育委員会	弁護士委託料と複写機使用料の執行が予算よりも少なかったことが主な要因である。弁護士委託料は1,000,000円の予算に対して執行額が575,872円、複写機使用料については、2,119,000円の予算に対して執行額が1,870,800円であった。
奥土居委員	弁護士委託料について、執行率が約58%であった要因は何か。
教育委員会	決算額575,872円の内訳は、着手金1人当たり税込み54,000円の10名分、成功報酬については回収金額の16%と取り決めがあり、28,378円、諸経費7,494円である。
奥土居委員	成功報酬が少なかったということか。
教育委員会	当初予算では、弁護士委託を20名分として予算計上したが、委託の上限が10名となったことによるものである。
奥土居委員	当初予算では成功報酬は計上していなかったのか。
教育委員会	どの案件を弁護士委託するのかなど、当初予算では成功報酬の積算ができないため、委託料全体の中で対応することとしていた。
奥土居委員	成功報酬を予算化していなかったため、20名を弁護士委託できな

	かったのか。
教育委員会	概算で20名分を予算計上していたが、その後の弁護士との協議の中で、委託上限が10名となった。
木戸委員	事務局費について、教育委員会として教育文化の向上発展を目的として三宅剣龍賞として表彰されているが、その関連する施設である三宅剣龍美術館への入館者が少ないと感じている。現在、市としての関わりはないのか。
教育委員会	開館当時は、啓発等を行った。
木戸委員	開館当時は市長も積極的にPRもされていた。入館者の増加に向けて、教育委員会としてできることがあればお願いしたい。
教育委員会	三宅剣龍賞については、文化財課が対応していることもあり、教育委員会内部で何ができるか協議し、できることがあれば対応したいと考える。
木戸委員	まずは、現状について確認願う。

**■監査委員・公平委員会・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会事務局**

**日程第1 認定第1号 平成28年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について**

**監査委員・公平委員会・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会事務局**

**【主な説明】**

決算説明資料に基づき説明

**【主な質疑】**

隅田副座長	参議院議員選挙費について、開票事務において2台の投票用紙分類機を活用しているが、さらに分類機を増設することで効率化及び時間短縮を図ることができるのか。
監査等事務局	現在、3台保持している分類機のうち2台が投票用紙の天地表裏を整えなくても分類することが可能である。県や市の選挙においては1台の稼働で対応できるが、次期衆議院議員選挙では、選挙区、比例区、国民審査と3種類の投票があることから、3台すべて稼働する予定としている。
隅田副座長	分類機1台の購入費用はどの程度か。
監査等事務局	1台約400万円である。
隅田副座長	篠山町畑財産区議会議員選挙費について、選挙制度自体を廃止する



ことはできないのか。

監査等事務局 財産区については、地方自治法に規定されており、公職選挙法に基づき、財産区議会議員選挙を行うこととなっている。

隅田副座長 なぜ、畑地区だけに財産区が残っているのか。

監査等事務局 明治時代の19町村から合併を繰り返す中で、畑は財産区として結論を出され、それが今に引き継がれている。

### ■議員協議

栗山座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

奥土居委員 事務局費に関して、給食費滞納額の徴収事務を弁護士に委託していることについて、実際に徴収できた金額より、弁護士への委託料が高いように感じる。平成28年度は、徴収額約177,000円に対し、弁護士委託料は、着手金や成功報酬を含めて、10件で575,872円となっているが、費用対効果の面から非常に疑問を感じる。今後このような手法をとっていくのかどうか、部長に再度確認してはどうか。

安井委員 市では、任期付職員として弁護士を採用する予定であるが、そうなれば、未収金の徴収についても業務を担うことになるのか。

隅田副座長 現時点でどのような業務を行うかは、未確定であるとの答弁が分科会の中であった。

市では、料金等の未収金も増えてきており、公平性の観点からも弁護士に徴収事務を委託するとの方針も出されている。

奥土居委員 給食費については、児童手当からの充当も可能であることから、費用対効果から、粘り強く職員が対応する方がよいのではないか。今後も弁護士に徴収事務を委託するのか、あるいは、別の手法で進めていくのか、部長に再度確認してはどうか。

隅田副座長 債権管理については、市全体の方針であることから教育部長に再度質問しても答弁しようがないのではないか。市営住宅等もあり給食費だけの問題ではない。

栗山座長 債権管理担当部署である行政経営課の決算審査の中で、質疑を行うこととする。

— 異議なし —

— 部長等への質問等なし —

— 市長等への質問等なし —

16:50 散会